



## 報道資料

平成18年8月23日

中国電力株式会社

### エコキュート普及台数5万台突破について

当社は、ご家庭の全ての熱源を電気でまかなうオール電化住宅の普及拡大に向けた取り組みの一環として、電気式ヒーターを利用した従来型の電気温水器に加えて、経済的で環境にやさしい「CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯機」(エコキュート)の推奨を行っています。このたび、当社サービスエリア内でのエコキュート設置件数が累計で5万台を突破しました。(平成18年7月末現在 51,476台)

エコキュートは平成13年の販売開始以来、徐々にお客さまに普及してまいりましたが、特に近年の環境・省エネ意識の高まりを背景に、また、機器自体の性能向上もあってエコキュートの環境性や経済性が評価され、さらに国の補助金制度や集合住宅でのエコキュート設置に対する容積率緩和制度等とあいまって、急速に採用が広がってまいりました。

当社としても、夜間電力を活用する電気給湯機の普及は、当社の設備利用率の向上、供給コスト・環境負荷の低減につながるため、長年推奨活動を行ってまいりました。ヒートポンプ技術を使ったエコキュートは、これらに加え、特に環境性が高いため、テレビCMやホームページ、パンフレットなどにより積極的に推奨活動を行ってきたところです。

この結果、現在では、新たに電気給湯機を設置される約半数のお客さまがエコキュートを採用されており、対前年比では約2倍の伸びとなっています。国としても平成23年(2010年)までに累計520万台を目標に普及に取り組む(平成17年4月28日「京都議定書目標達成計画」閣議決定)こととしており、今後もエコキュートは急速に普及していくものと考えています。

当社といたしましては、引き続きキャンペーンやマスメディアを利用し、環境性・省エネ性に優れたエコキュートの普及拡大に積極的に取り組むとともに、「安心、快適、経済的な生活」のご提案と実現に向けたオール電化住宅の拡大に全社を挙げて取り組んでまいります。

以上

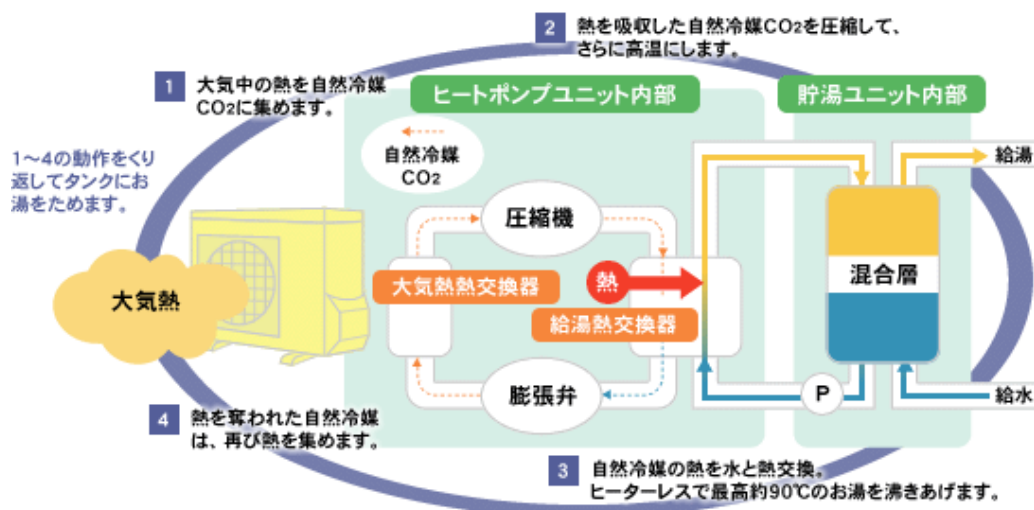
※「エコキュート」は、CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯機の愛称です。

1. CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）の概要・特長

自然冷媒であるCO<sub>2</sub>を使ったヒートポンプシステムにより、大気中の熱を汲み上げて給湯に必要な熱エネルギーとして利用するため、エネルギー効率に優れ、省エネ性や環境保全性の高い給湯機である。

財団法人省エネルギーセンター主催の平成13年度省エネ大賞経済産業大臣賞をはじめ、国内外の多数の機関、団体より数々の賞を受賞するなど高い評価を受けている。エコキュートの名称は電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒ヒートポンプ給湯機の愛称として取り扱っている。

【システム概要図】



2. 国によるエコキュート普及促進施策

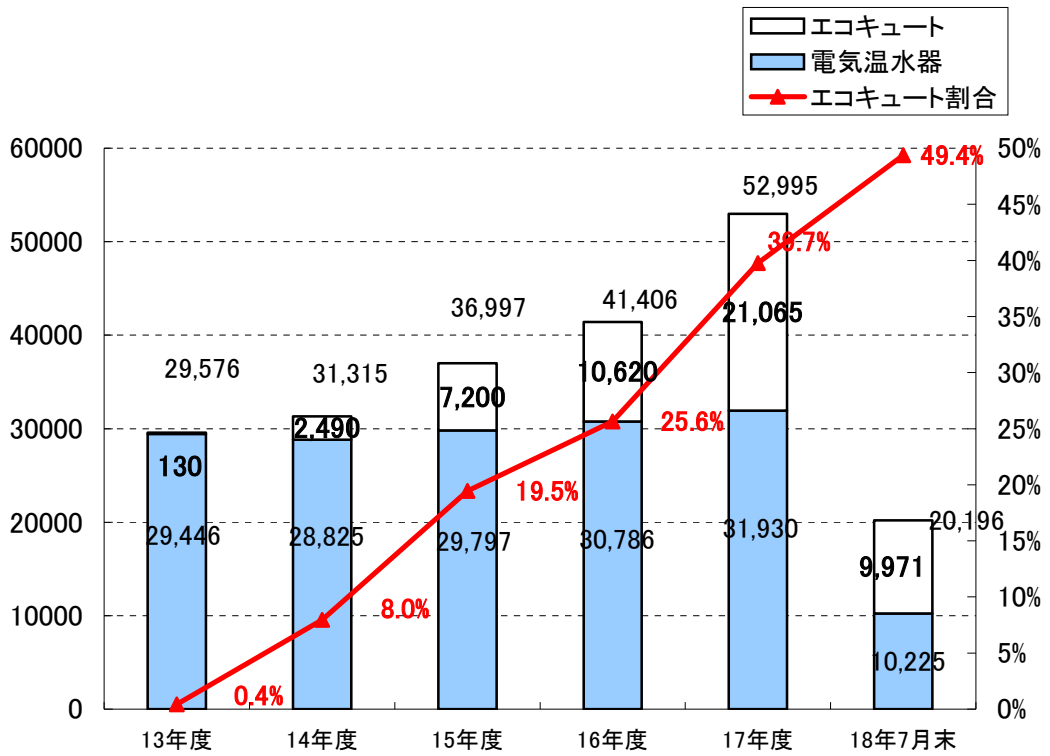
(1) 補助金制度

経済産業省の交付により、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターが、「住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金（高効率給湯器支援事業）（CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯器—愛称：エコキュート）」の公募を行っている。

(2) 容積率緩和制度

国土交通省は平成16年2月に「自然冷媒を用いたヒートポンプ・蓄熱システム（エコキュート）」を設置する建築物について、建築基準法第52条第13項第1号の規定の運用により、容積率の緩和制度を活用することが可能な旨を自治体へ周知しており、これによって自治体の許可があれば、容積率の割り増しを受けることが可能になっている。

3. 電気給湯機販売台数とエコキュートの割合（単年度）



4. オール電化住宅戸数の推移

